

総合的な学習の時間 「福祉体験 手話」

平塚市立江陽中学校



単元（題材）目標

○福祉体験として、車いす体験・高齢者疑似体験・誘導法体験・手話体験・点字体験・盲導犬体験の中から1つ選択し、体験を通して、多くの生徒が、福祉に対しての見識、思いやりやバリアフリー社会の実現などに対する関心を高める。

（1）実施時期

令和2年11月11日（金）

（2）対象（学年等・人数）

第2学年 205名（手話18名）

（3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：2学年所属 1名

外部講師：4名



（4）実施内容

- ①事前学習：講演会 『ボランティアの心構えについて』
- ②映像資料を利用し、プリントを使って、福祉の基礎を身につけられるよう取組んだ。
- ③福祉体験（手話体験）：講師を招いて、手話実践を行った。
 - ・講師4名（うち1人聴覚障がいのある方）
 - ・聴覚障がいのある方のお話（生活の中での工夫や、困難なこと等）
 - ・手話体験（手話のポイント、あいさつ、感情を表す言葉、自己紹介の仕方等）
講師が名簿を見て、生徒の名前を手話で表し、誰の名前かを当て、該当生徒から順に、自分の名前も含めて自己紹介を行った。
 - ・質疑応答（手話にも英語や方言があるのか等）
- ④お礼状作り・新聞作成（個人）

（5）成果

○手話は、手だけではなく表情や気持ちを込めて伝えることが大切だということ、体験を通して感じる事ができた。皆が気持ちよく過ごすために、思いやりやバリアフリー社会の実現が必要であることを知り、福祉に対する関心を高めることができた。

（6）その他

○今後も福祉体験を継続して行い、生徒が実際に福祉に触れる機会を多く作っていきたい。